

アンケートの結果から

B地区藤沢自治会長 山本 亨

会員の年齢構成

70歳以上が70%を占め、60代以下は30%未満。40代以下は10%ほど

高齢化が進んで厳しい状況。一方で若い世帯も少し増えているのは、住み替えによるものと考えられます。

1. 会員の状況(次回役員が回ってきたら?)

半数以上が不安、やや不安を合わせると72%にもなる。不安の理由としては、高齢に起因する病気・介護、体力気力の衰え等が半数以上を占めています。PCが苦手という声も。

若い世代では、仕事と幼い子育て中という理由があります。

2. 役員数を減らすことについて

94%もの方々が賛成しています。役員数削減と共に、役員の仕事を減らして欲しいという声が多くありません。

※近年減った仕事・・・①地区社会福祉協議会の敬老会・福祉バザーが無くなり、評議員も廃止。

②社体協の夏祭り廃止、地区レクも個人の自由参加に。

※減らして欲しい事業 ①福祉部の敬老祝い事業の縮小・廃止

②日赤の募金業務の軽減(自治会費からまとめて出したい)

③その他

○自主防災隊の活動が負担だという声も

☆子ども夏祭り等の行事はボランティアを募集して実施したらどうか

☆実施して欲しい ①会員同士での散歩・遠足

取り組み ②鑑賞会(音楽・映画等)

③お茶会

4. 役員選出街区の輪番間隔の差の解消

約90%もの方々が賛成。自治会全体を見て平等感のある統合と長期間持続できるルールの設定を望む声もあります。

1 会員の皆様の声に耳を傾け、役員で協議した結果、日常活動(回覧や集金、清掃活動等)はこれまで通り17街区で行います。

2 役員選出に当たっては、会員数(受けられる人数)の平均化を図るのが目的です。

従って、役員は街区委員を兼ねますが、役員のいない街区は、街区員を置くことになりま

す。
3 今、役員の仕事量と役員数の削減を検討中です。併せて、役員選出方法を検討しており、具体案は臨時総会の議案で提案しますので、しばらくお待ちください。

5. 自治会全体での役員の立候補制

皆様が自分事として真摯に考えてくださった結果、立候補する気がある方は4名おられ

たことは心強いことです。こうした皆様のお気持ちを活かして自治会活動を活性化してい く必要があります。

6. 役員の負担減策(役員サポート隊等)への支援活動

参加意志のある方々が、**24名(18%)**もおられたことは、大変心強いことです。

役員のサポート体制があれば、役員になることへの不安解消につながることを期待できます。

今後検討し、実施につなげることが望まれます。